



## 外国出張報告書

平成 27 年 7 月 21 日

1. 出張国名      タイ, ラオス
2. 出張月      平成 27 年 6 月
3. 出張目的      タイおよびラオスの地域食料資源の加工特性評価に関する調査：C

#### 4. 成果の概要

タイにおいては、カセサート大学食品研究所 (IFRPD) にて、自身の研究の紹介を行うとともに、タイでの食品研究実施課題について意見交換を行った。また、研究対象候補である魚肉団子や米麺を中心に、バンコク市内、市外の市場調査を実施し、現地の研究者とともに発酵米麺工場およびその原料となる発酵米粉の工場における聞き取り調査を行った。

ラオスにおいては、ビエンチャン市内の市場にて購入可能なタンパク源（魚、貝、昆虫など）やそれらの伝統的な食品加工法の調査を実施した。また、現地研究者と一村一品活動の2周年記念を迎える食品加工工場（パデック）を訪問し、新たな加工方法および販売戦略など今後の動向について聞き取りを行った。国立ラオス大学では、食品研究の動向について意見交換や今後の実験準備のために施設を視察した。ナムアン村では、現地研究者とともに伝統的なタンパク源の種類とその採取方法や採取場所の調査および現地視察を行ない、加工・摂取方法および嗜好性の聞き取りを行った。また摂取量の算出に帰するデータ取得を試みた。